精神障害にも対応した地域包括 ケアシステム構築に向けた取り組み (令和6年度実績)

目黒区保健所 保健予防課

1 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進

精神障害のある人が安心して生活ができる地域づくりを目指し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、構築推進事業と構築支援事業に取り組んでいる。

➤ 構築推進事業

目黒区精神保健医療福祉推進協議会を軸に、次の取組を実施

(1) アウトリーチ支援事業

(2) 措置入院者退院後支援事業

(3) 退院相談支援事業

(4) 普及啓発

ア) 精神保健講演会 イ) 関係機関に向けた勉強会 ウ) リーフレットの作成・配布

(5) ピアサポートへの取組

➤ 構築支援事業

広域アドバイザー（岡山市保健所木本精神保健福祉士）、目黒区密着アドバイザーの支援を受けながら、目黒区精神保健医療福祉推進協議会（※）を軸に、関係機関等との顔の見える関係づくり

※委員15人以内（精神医療・精神保健福祉の関係団体構成員、当事者及びその家族）

2 構築推進事業

(1) アウトリーチ支援事業

- 保健師が地区活動で困難事例を把握
- 所内会議でアウトリーチ支援の必要性を協議
- アウトリーチ支援チームを招集
⇒医師、看護師・心理職・保健師・精神保健福祉士
- 支援期間は原則6か月間
- 事例は協議会で共有（個人情報に配慮）

(2) 措置入院者退院後支援事業

- 警察官通報等で措置入院された方
⇒本人の了解を得て、入院中から退院後の地域生活に向け支援
- 支援は入院時からスタートし、退院後6か月間
- 事例は協議会で共有（個人情報に配慮）

※令和6年12月20日より、東京都からの23条通報結果についての情報提供方法変更。入院から結果を把握するまでの期間が短くなった。

【アウトリーチ実施件数】

	4年度	5年度	6年度
保健予防課	4	7	2
碑文谷	4	5	2
計	8	12	4

【措置入院実績】

	4年度	5年度	6年度
警察官通報	34	31	40
措置入院把握件数	9	16	20
退院支援数	5	12	8

2 構築推進事業

(3) 啓発事業

◎精神疾患や精神障害、メンタルヘルスに対する地域住民の正しい知識の普及や理解

ア) 精神保健講演会（区民向け）

令和6年度は4回開催し、延べ人参加99人

イ) 関係機関に向けた勉強会（令和6年3月14日実施）

精神科医師による講演とグループワーク（**歯科診療所・薬局・訪看ステーション**を中心に）

ウ) リーフレットの作成「こころの相談」

保健所で実施している精神保健事業をまとめたもの ⇒ 関係機関に広く周知

(4) ピアサポートへの取組

- 令和4年度 「ピアサポート講座」として川口市の取組を学ぶ
- 令和5年度 「目黒区ピアサポートワーキンググループ検討会」
- 令和6年度～「ピアサポートワーキンググループ」を設置し、様々な活動をしているピア（当事者）と、行政、支援者がつながる場の設定として「ピア交流会」を企画、開催